

話題にしたい本

【荒木・選】

石川宏千花『拝啓バンクスノットデッドさま』(くもん出版)
 梨屋アリエ『エリーゼさんをさがして』(講談社)
 こまつあやこ『ハジメテヒラク』(講談社)
 有沢佳映『お庭番デイズ 逢沢学園女子寮日記』(講談社)
 いとうみく『朔と新』(講談社)
 ささきあり『サード・プレイス』(フレーベル館)
 ばんひろこ『まほうのハンカチ』(新日本出版社)
 間部香代『区立あたまのてっぺん小学校』(金の星社)

【繁内・選】

濱野京子『with you』(くもん出版)
 工藤純子『てのひらに未来』(くもん出版)
 中澤晶子『ワタシゴト 14歳のひろしま』(汐文社)
 八束澄子『団地のコトリ』(ポプラ社)
 望月雪絵『魔女と花火と100万円』(講談社)
 おおぎやなぎちか『ジャンプして、雪をつかめ!』(新日本出版社)
 楠章子『へんくつさんのお茶会 おいしい山のパン屋さんの物語』(学研プラス)
 昼田弥子『コトノハ町はきょうもヘンテコ』(光村図書出版)
 葦原かも『とどけ、サルハシ!』(小峰書店)
 中川なをみ『かけはし 慈しみの人・浅川巧』(新日本出版社)

【西山・選】

濱野京子『with you』(くもん出版)
 梨屋アリエ『エリーゼさんをさがして』(講談社)
 石川宏千花『拝啓バンクスノットデッドさま』(くもん出版)
 小手鞠るい『窓』(小学館)
 村上雅郁『キャンドル』(フレーベル館)
 佐藤まどか『世界とキレル』(あすなろ書房)
 梨屋アリエ『ココロ屋つむぎのなやみ』(文研出版)
 森絵都『あしたのことば』(小峰書店)
 小川英子『王の祭り』(ゴブリン書房)

ていく中で、それにコミットしているものを選びました。
 ——最後に西山さん。西山利佳さんは、児童文学評論家、青山学院女子短期大学子ども学科准教授であります。近年では『こどもの本』(日本児童図書出版協会)に評論「ジェンダーの窓から」を連載され、評論集『「共感」の現場検証 児童文学の読みを読む』などを出版されております。
 西山 「今」を気にしました。「今」この作品があることの意味や「今」がどう反映されているかという観点で選びました。

語らなければ——この三冊
 ——さて、選ばれた作品の中で複数の方が選んだ作品が三

作あります。最初は作品名の五十音順で、濱野京子さんの『with you』。選ばれたのは、繁内さんと西山さんです。
繁内 母親と出来のいい兄との三人家族の中学生、悠人が主人公です。家庭で認められていないと思っている悠人が、公園に一人でいる朱音に出会う、ボーイミーツガールの物語ですが、朱音は病気の母を抱え家事と看病を背負って悩んでいます。ヤングケアラーという、これまであまり知られていなかった問題を取り入れています。悠人の寂しさや朱音の孤独が響き合う恋愛と、社会的問題を可視化するという二つをうまく組み合わせた作品だと思います。
西山 12章の滑り台のシーンが恋愛物語としてはクライマックスです。でも、その後はまだ五〇ページぐらいあ